

岡山空襲の体験を次代に

6月29日は71年目の岡山空襲の日でした。東市議は岡山市の戦没者追悼式に参列しました。ここでは戦災死者遺族会の方が憲法9条を読み上げられました。遺族の方や市内の小



中学生など約1600人が式典に参加しました。夜は若者が「ピースキャンドル」を行いました。(写真上) 空襲体験を聞いた後、ろうそくを灯して岡山空襲で亡くなった人達をおもい、戦争の反省の上に生まれた平和憲法を守る誓いを新たにしました。

当新田市住だけ！ 風呂設置の自己負担

岡山市は以前、東市議の議会質問に答え、風呂のついていない市営住宅に風呂を設置するとしていました。しかし南区芳泉の当新田市営住宅だけは自己負担で設置しなければなら



あずま 東つよしの 奔西走

りません。近いうちに建て替える具体的な計画もないのに、一部の入居者にだけ風呂設置の費

表町では、平和の波おかやま実行委員会が「平和七夕まつり」にとりくみ、千羽鶴が商店街を彩りました。(写真下)

今年の空襲展示室の「岡山空襲の記録と写真展」では、遺品など展示品の解説の冊子が新たに作られ、来場者に配られました。戦争の体験を次代につなげるとりくみは、着実に



用負担を強いることは問題です。市は設置すると言った以上、全ての市営住宅につけるべきです。

市民に根づいています。



7月10日

7月10日の参院選は残念ながら岡山の黒石さんの勝利はなりませんでしたが、全国32の定数1の選挙区で野党統一候補11人が勝利しました。日本共産党は改選3議席を倍増する6議席をいただきました。改憲勢力が3分の2を占めた今、戦争する国にするなの声を南区から広げてがんばります。(東つよし)

東市議の個人質問報告

6月岡山市議会での東市議の個人質問のダイジェストです。

生命優先の災害対策を

熊本地震では建物倒壊で多くの被害が出ました。一定以上の建物の耐震強度基準



が地域によって割り引かれていて、岡山県は1割引です。また、岡山市では建物の中間検査の対象範囲が全国でもっとも狭くなっています。東市議は改善を求めましたが、建設コスト上昇を理由に答弁は後ろ向きでした。災害対策は人命最優先でなくてはなりません。

ゲリラ豪雨などでどこが浸かるかの「内水ハザードマップ」ができました。(写真下)東市議が実現を求めてきたものです。市は市民説明等で活用するとして全戸配布は行いませんが、区役所に行けば手に入ります。

国保値上げやめて

国民健康保険の運営は再来年度から市町村単位から県単位に変わります。国保料の値上げや制度の削減をより押し付けやすい形です。東市議は、今まで市が国保料値



上げ回避のために行ってきた政策的繰り入れが制度上可能なことを確認するとともに、値上げを許さず値下げをと求めました。今後の協議で決まるという答弁です。9年間値上げをストップさせた市民の運動が、今後ますます大切になります。

国保運営協議会の議事録は、ようやく次回の協議会で公開するよう諮ることになりました。

使いやすい学童保育を

昨年度から学童保育の制度が改善されましたが、「土曜保育がない」「4時半で終わる」等のクラブが残っています。担い手不足が原因にあります。東市議の質問で、支援員の年収を160万円にできる制度設計であること、制度をフルに例えば350万円程度にできることが明らかになりました。制度を活用し、担い手を増やせるよう、市の働きかけの改善が必要です。

熊本地震の発生後、官房長官が憲法を変えて緊急事態条項をもちこむことについて「大切な課題だ」と発言しました。

災害を改憲の口実にするな

東市議が個人質問で現行憲法が原因で災害対策がとれない場合があるのかと質

問したところ、市の答弁は今の憲法で問題ないというものでした。熊本地震にいち早く職員を派遣し、よく現場を知っている自治体の、偽らざる認識です。

安倍政権の憲法を変える狙いは、海外で戦争する国づくりにあります。災害対応の遅れを憲法のせいにすることは許されません。なにより憲法を活かしてこそ、個人の尊厳を守る災害対応が行えます。